

平成30年7月19日

平成30年度における世界文化遺産の推薦候補の選定について (文化審議会の審議結果(報告))

7月19日(木)に開催された文化審議会世界文化遺産部会において、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が本年度の世界文化遺産の推薦候補として選定されました。詳細は別紙のとおりです。

(参考)

※平成30年度審査対象案件となった以下の2件の中から「北海道・北東北の縄文遺跡群」を選定

- ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道、青森県、秋田県、岩手県)
- ・「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」(新潟県)

<担当> 文化庁文化財部記念物課

課長	大西 啓介
世界文化遺産室長	渡辺 栄二
文化財調査官	鈴木 地平
電話：03-5253-4111(代表)(内線2877)	

選定物件

世界遺産一覧表への記載に向けて今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を選定する。

選定理由

今年度の選定候補となっている2件については、いまだ課題が残り推薦書の提出までにさらなる充実を図る必要があると考えるが、文化審議会としては、昨年度と同様に、推薦後の審査・評価次第では、その指摘に応じて推薦内容を抜本的に見直すことも視野に入れて、推薦物件を選定することも有力な選択肢であると判断する。

これを踏まえ、文化審議会としては、今年度の推薦候補について、「世界文化遺産推薦書の準備状況を判断する際の観点」（平成29年4月24日文化審議会世界文化遺産部会決定）に照らして検討した結果、顕著な普遍的価値が認められ得ると考えられ、かつ推薦内容の検討状況が現時点で相対的に進んでおり、また推薦後の審査・評価を推薦内容の見直しに反映させる余地が大きいと考えられる「北海道・北東北の縄文遺跡群」を選定する。

なお、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」については、今年度の推薦候補としては選定されなかったものの、昨年度からの進捗が見られ、今後、関係自治体が推薦書案の準備をさらに進めていくことにより、「北海道・北東北の縄文遺跡群」に次ぐ案件として、有力な推薦候補案件となり得るものとする。